

日本国際政治学会 2004 年度研究大会のご案内

日本国際政治学会 2004 年度研究大会を下記の通り開催いたします。なにとぞ万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。なお、以下のプログラムの報告題目などは暫定的なもので最終的なプログラムは大会当日に配布いたしますので、ご了承をお願い申し上げます。

2004 年(平成 16 年)9 月 1 日
財団法人 日本国際政治学会
理事長 下斗米 伸夫

日時:2004 年 10 月 15 日(金)~10 月 17 日(日)

会場:淡路夢舞台国際会議場

〒656-2301 兵庫県津名郡東浦町夢舞台 1 番地 電話:0799-74-1020

2004 年 10 月 15 日(金)

受付開始 12:30

15 日(金)午後の部会 13:00 - 15:30

部会 1. 警察と軍の間 国際刑事司法の政治過程

司会 土山實男(青山学院大学)

報告 星野俊也(大阪大学)「多国籍軍による治安維持と平和維持の課題」(仮題)

高山佳奈子(京都大学)「国際刑法の展開」

宮坂直史(防衛大学校)「テロリズム対抗と制度形成 変化する警察と軍」

討論 藤原帰一(東京大学)

部会 2. ブッシュ父政権の外交政策

司会兼討論 五十嵐武士(東京大学)

報告 上村直樹(広島市立大学)「ブッシュ外交と日米関係」

篠原総一(同志社大学)「ブッシュ父政権の対外経済政策」

久保文明(東京大学)「G.H.W.ブッシュ政権の国内政策と

共和党の変容 1989-1992」

部会 3. 新段階を迎えた中台関係

司会 中居良文(学習院大学)

報告 浅野亮(同志社大学)「『平和的台頭』と中台関係

対外政策,台湾政策,権力政治」

滝田賢治(中央大学)「中台関係とアメリカ

ブッシュ政権の中台政策」

門間理良(文部科学省)「台湾側から見た中台関係の現状」

討論 阿部純一(霞山会)

部会 4. 戦後日本の安全保障体制の原点とその展開

司会 渡邊昭夫(平和安全保障研究所)

報告 楠綾子(日本学術振興会特別研究員)「吉田内閣の安全保障政策,
1951 - 1954 年」

柴山太(愛知学院大学)「海上自衛隊創設への道 1950 ~ 54
日英米の3カ国パースペクティブから」

佐道明弘(中京大学)「戦後日本防衛政策における
『自主防衛論』と『安保中心論』」

討論 河野康子(法政大学)

道下徳成(防衛庁防衛研究所)

分科会セッション A 15:45 - 17:15 **別掲**

分科会セッション B 17:30 - 19:30 **別掲**

2004 年 10 月 16 日(土)

受付開始 9:00

16 日(土)午前の部会 9:30 - 12:00

部会 5. ポスト拡大期の欧州統合

司会兼討論 小久保康之(静岡県立大学)

報告 庄司克宏(慶應義塾大学)「欧州憲法条約と EU の制度設計
『一層緊密化する連合』から『多様性の中の結合』へ」

宮本光雄(成蹊大学)「欧州憲法の思想と課題」

六鹿茂夫(静岡県立大学)「ENP における EU - WNIS - ロシア関係」

蓮見雄(立正大学)「欧州近隣諸国政策とロシア」

部会 6. 世界標準のポリティクス グローバル・ガバナンスの解明に向けて

司会 遠藤乾(北海道大学)

報告 藤沼亜起(国際会計士連盟)「国際会計基準等の設定過程」

城山英明(東京大学)「環境・安全規制の国際的調和化と差異化
自動車環境規制, 食品安全規制を素材として」

Ulf Sverdrup(University of Oslo), "Figuring integration
- Eurostat and the informational foundation of the EU"

討論 宮本融(北海道大学)

部会 7. モデリング最前線

司会 猪口孝(東京大学)

報告 鈴木基史(京都大学)「多元化した国際システムにおける
国際協定遵守問題の数理分析」

瀬島誠(大阪国際大学)「国際政治学における
コンピューター・シミュレーション・モデル」

林光(千葉経済大学(非常勤))「ゲーム論最前線」

討論 樋渡由美(上智大学)

部会 8. 日米開戦に至る日本外交の再構築

司会 大畑篤四郎(早稲田大学名誉教授)

報告 服部聡(サントリー文化財団)「松岡外交の再構成

マジック逆用の可能性」

養原俊洋(神戸大学)「日本の SIGINT の歴史と政策決定への影響

日米交渉の最終局面を事例として」

井口武夫(尚美学園大学)「対英米交渉打ち切り通告をめぐる計略と

米大統領の天皇陛下宛親電の妨害工作の再検証」

討論 戸部良一(防衛大学校)

部会 9. 日韓国際政治学会合同パネル(KAIS-JAIR Joint Symposium)

E-Democracy: Korea and Japan (Working language: English)

Chair: Ahn, Chung-Si (Seoul National University)

Papers: Dr. Yoo Hyang Kim(The National Assembly Library) "E-democracy in South Korea"

Iwasaki, Masahiro (Kyorin University) and Takagi, Soichiro (NTT Data Research

Institute for System Science), "E-Democracy in Japan"

Discussants: Ahn, Chung-Si (Seoul National University)

Lee, Jong Won (Rikkyo University)

分科会セッション C 13:30 - 15:10 別掲

総会 15:10 - 16:00

共通論題 16:00 - 18:30

テーマ **地域統合と同盟政治**

司会 高橋進(東京大学)

報告 天児慧(早稲田大学)「東アジア共同体論と中国の新国際秩序構想」

森井裕一(東京大学)「ドイツにおける同盟と統合

シュレーダー政権を中心として」

菅英輝(九州大学)「アメリカの同盟政策に変化は見られるか」

討論 植田隆子(国際基督教大学)

山影進(東京大学)

懇親会 18:45 - 20:30 ウェスティンホテル宴会場「ステラ」

2004年10月17日(日)

受付開始 9:00

分科会セッション D 9:30 - 11:00 別掲

分科会セッション E 11:15 - 12:45 別掲

17日(日)午後の部会 14:00 - 16:30

部会 10. 予防外交と平和構築

司会 磯村早苗(國學院大學)

報告 山田満(埼玉大学)「平和構築における NGO アクターの役割」

立山良司(防衛大学校)「国際社会と中東和平プロセス　イスラエル・パレスチナ間の非対称性と第三者による介入の可能性」
首藤もと子(筑波大学)「ASEAN 安全保障共同体(ASC)構想と紛争予防の課題:インドネシアの視点から」

討論 吉川元(神戸大学)

部会 11. 国際社会における法と政治

司会 田中明彦(東京大学)

報告 大沼保昭(東京大学)「国際社会における法と力
『危機の20年』再び？」

石田淳(東京大学)「国際秩序の領域的基盤とその再編」(仮題)

討論 遠藤誠治(成蹊大学)

部会 12. ニクソンショックの日本、朝鮮、ベトナムへの影響

司会 毛里和子(早稲田大学)

報告 増田弘(東洋英和女学院大学)「ニクソンショック(米中接近)と日本の対応」

倉田秀也(杏林大学)「ニクソンショックと韓国」

栗原浩英(東京外国語大学)「米中接近とベトナム労働党
漸進的解放戦略と軍事攻勢戦略との間で」

討論 伊藤剛(明治大学)

部会 13. 戦争・占領・戦後　沖縄の事例から

司会 我部政男(山梨学院大学)

報告 我部政明(琉球大学)「アメリカの基地網建設と『戦後』軍事戦略構想」

浅野豊美(中京大学)「琉球と日本の分離と再統合」

引揚と移民送出をめぐる国内政治と国際政治再考」

平良好利(法政大学大学院)「戦後初期アメリカの沖縄土地政策と

米軍基地　1945 - 1952 ~ 沖縄版「農地改革」構想とそのゆくえ ~」

討論 渡邊昭夫(平和安全保障研究所)

部会 14. 戦争と平和の過去と現在

司会 横田洋三(中央大学)

報告 船尾章子(神戸市外国語大学)「20世紀国際秩序生成期の
集団安全保障と領土保全原則」

半澤朝彦(明治学院大学)「国際機関による統治　その帝国史的起源」

市川ひろみ(今治明德短期大学)「被害者としての兵士」

討論 等松春夫(玉川大学)

則武輝幸(帝京大学)

日本国際政治学会2004年度研究大会分科会プログラム

(2004年9月29日現在)

2004年10月15日(金)

分科会セッションA 15:45 - 17:15 / セッションB 17:30 - 19:30

A-1/B-1 (連続) アメリカ I (責任者: 滝田賢治)

[I](A-1)

報告 「アメリカ議会と米中関係 議会をめぐる諸変化とPNTR法案」	前嶋和弘 (敬和学園大学)
報告 「アレクサンドル1世のロシアとモンロードクトリン - アメリカのアレクサンドル1世観との関連で」	中嶋啓雄 (大阪外国語大学)
討論者	三船恵美 (中部大学)
討論者	君塚直隆 (神奈川県立外語短大)
司会者	藤本博 (南山大学)

[II](B-1)

《書評: 川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』(同文館2004年)》

討論者	村田晃司 (同志社大学)
討論者	宮坂直史 (防衛大学校)
司会者	我部政明 (琉球大学)

A-2 東アジア国際政治史 I (責任者: 川島真)

報告 「清朝の通商体制から見た日清修好条規 清朝の通商条約の分析を中心として」	廖敏淑 (北海道大学大学院)
報告 「遠のくデモクラシーの足音 第二革命と日英米」	王平 (淑徳大学)
討論者	岡本隆司 (京都府立大学)
討論者	山腰敏寛 (徳島県立名西高等学校)
司会者	川島真 (北海道大学)

A-3 安全保障 I (責任者: 土山實男) 《日本の安全保障》>

報告 「日本の安全保障政策における『基本構造』の変化 内閣総理大臣演説の内容分析より」	板山真弓 (東京大学大学院)
報告 「ミサイル防衛システムをめぐる日米技術協力と アメリカの新たな調達方式 日本の防衛産業 構造へのインプリケーション」	久保田ゆかり (大阪外国語大学大学院)
報告 「ベトナム戦争後の対越援助戦略と 日本外交の変化」	田中康友 (平和安全保障研究所)

討論者
司会者

赤根谷達雄（筑波大学）
志鳥學修（武蔵工業大学）

A-4 国際政治経済Ⅰ（責任者：山田高敬）
《気候変動レジームの将来》

報告 「国際環境レジームの有効性に関する研究
地球環境問題の事例を中心に」

太田宏（青山学院大学）

報告 「将来の気候変動レジームに関する
諸提案の一考察」

亀山康子（国立環境研究所）

討論者
司会者

山田高敬（東京都立大学）
山田高敬（東京都立大学）

A-5 国際交流（責任者：川村陶子）
《アジア地域形成と再生のための国際交流》

報告 「戦後日本農村における『近代的生活』の咀嚼過程
生活改善運動を中心に」

佐藤寛（アジア経済研究所）

報告 「『地域』創出のための国際文化交流 ASEAN
による地域アイデンティティ創出の試みとその動機」

岡部まき（アジア経済研究所）

討論者
討論者
司会者

齋藤文彦（龍谷大学）
上原良子（フェリス女学院大学）
川村陶子（成蹊大学）

B-2 ラテンアメリカ（責任者：恒川恵市）
《内戦と平和構築》

報告 「紛争後平和構築のプロセスの考察
エルサルバドルとニカラグアの比較検討」

田中高（中部大学）

討論者
司会者

浦部浩之（愛国学園大学）
恒川恵市（東京大学）

B-3 理論と方法Ⅰ（責任者：飯田敬輔）

報告 「国際関係論研究における事例研究手法の再検討」

報告 「プロスペクト理論の現状と課題」

報告 「オーラルデモクラシーの挑戦 民主化指標と
識字率との批判的相関分析と検証」

泉川泰博（宮崎国際大学）

久保田徳仁（防衛大学校）

藤原郁郎

（コロンビア大学大学院）

討論者
司会者

飯田敬輔（青山学院大学）
飯田敬輔（青山学院大学）

B-4 政策決定（責任者：飯倉章）

報告 「政策決定論に未来はあるか？
スナイダー・モデル、アリソン・モデル再考」

飯倉章（城西国際大学）

報告 「官邸外交と内閣官房 外交政策
コアエグゼクティブとしての役割見直し」

信田智人（国際大学）

討論者 鈴木順子（外交フォーラム編集部）
司会者 長尾悟（東洋学園大学）

2004年10月16日（土）

分科会セッションC 13:30 - 15:10

C-1 日本外交史 I （責任者：黒沢文貴）
《大正期日本外交の形成と変容》

報告 「幻のハーグの平和
戦間期国際協調外交の原型」 酒井一臣
（日本学術振興会特別研究員）
報告 「西原借款と『日中経済提携』 大正期日本
における対外経済政策構想の一潮流」 森川政則（大阪大学（助手））
討論者 高原秀介（同志社大学（嘱託））
司会者 池井優
（慶應義塾大学（名誉教授））

C-2 アメリカ II （責任者：滝田賢治）

報告 「オタワ・プロセスとカナダ外交」 足立研幾（金沢大学）
討論者 桜田大造（関西学院大学）
司会者 桜田大造（関西学院大学）

C-3 東アジア I （責任者：平岩俊司）

報告 「台湾の大陸政策（1958-1969）
『大陸反攻』の試みと聯合戦線の拡大」 松田康弘（防衛研究所）
報告 「韓国経済成長における日本のアイデアの役割
浦項総合製鉄(POSCO)事業を中心に」 西野純也
（延世大学大学院）
討論者 高原明生（立教大学）
討論者 木宮正史（東京大学）
司会者 平岩俊司（静岡県立大学）

C-4 東南アジア （責任者：田村慶子）

報告 「東アジア地域統合のために
地域イニシアチブとそのプロセス」 ベニー・テー・チェングアン
（金沢大学大学院）
報告 「トランスナショナルな生活と農村におけるヒューマン
セキュリティ 東北タイの三農村の事例」 渡部厚志
（慶應義塾大学大学院）
討論者 清水一史（九州大学）
討論者 石井由香（立命館大学）
司会者 田村慶子（北九州市立大学）

C-5 アフリカ（責任者：青木一能）

報告 「フランスによる仏語圏アフリカ諸国の安全保障
親仏政権の従属から離反へ」

報告 「コートディヴォワールの内戦と和平への展望」

討論者

討論者

司会者

加茂省三

（日本学術振興会研究員）

佐藤章（アジア経済研究所）

ファビアン・フィエスキ

（フランス大使館）

片岡貞治（早稲田大学）

青木一能（日本大学）

C-6 理論と方法II（責任者：飯田敬輔）

報告 「ソーシャル・キャピタル論の国際政治学への応用
ソーシャル・キャピタル論からみるAPECの可能性」

報告 「新しい『ローマ帝国』の形成？：統合新欧州の
国際政治的位相 シュタイン・ロッカンの
欧州概念地図の理論的示唆」

討論者

司会者

椋島洋美（横浜国立大学）

原清一（九州大学）

白鳥浩（法政大学）

猪口孝（東京大学）

飯田敬輔（青山学院大学）

C-7 安全保障II（責任者：土山實男）

《いま「人間の安全保障」をどう考えるべきか》

報告 「ヒューマン・セキュリティをめぐる複合的ガバナンス

国家・国連・企業・NGOの多層的複合的
パートナーシップ」

報告 「人間の安全保障から見た人道支援の理論的分析
危機の複合性と介入のパターン分類による考察」

報告 「人間の安全保障と『国家』・『人間』
ネットワーク多層性の観点から」

討論者

司会者

栗栖薫子（大阪大学）

東郷育子（国連大学高等研究所）

青井千由紀

（青山学院大学）

納家政嗣（一橋大学）

山影進（東京大学）

C-8 国際政治経済II（責任者：山田高敬）

《コンストラクティビズムから見た国際経済領域におけるNGOの役割》

報告 「トランスナショナルな市民社会による規範形成と
国際協調 重債務帳消し運動を事例にして」

報告 「IWCレジームの発展・変容における活動家型NGO
の役割 規範とパワーの相互作用」

報告 「グローバル・ネットワークの実験主義的ガバナンス
オープン・アーキテクチャとしての国連グローバル
・コンパクト」

討論者

司会者

五野井郁夫（東京大学大学院）

阪口功（金沢大学（非常勤））

三浦聡（東洋大学）

平野健一郎（早稲田大学）

山田高敬（東京都立大学）

C-9 トランスナショナルI (責任者: 関根政美)
《グローバルガバナンス論再考》

報告 「権力/知としてのグローバルガバナンス」
報告 「パワー・シェアリングとガバナンス」

討論者

司会者

南山淳(筑波大学)
石川一雄(専修大学)
武者小路公秀
(大阪経済法科大学)
関根政美(慶應義塾大学)

C-10 平和研究 (責任者: 佐藤幸男)

報告 「小泉政権と自衛隊の派兵
日米首脳会談の文脈において」

報告 「被爆者援護をめぐる問題点」

討論者

司会者

浅野一弘(札幌大学)
浜賀裕子(明治学院大学(非常勤))
藤本一美(専修大学)
佐藤幸男(富山大学)

2004年10月17日(日)

分科会セッションD 9:30 - 11:00 / セッションE 11:15 - 12:45

D-1/E-1 (連続) 東アジア国際政治史II (責任者: 川島真)
[I](D-1)

報告 「マーシャル・ミッションの任務決定過程('45.11-12)
米国と『中国の統一』」

報告 「西ニューギニア紛争へのオーストラリアの対応
1958年~62年の時期を中心に」

討論者

討論者

司会者

[II](E-1)

松村史紀(早稲田大学大学院)

梅津弘幸(本学会会員)

袁克勤(北海道教育大学)

宮城大蔵(北海道大学)

川島真(北海道大学)

報告 「華北分離工作に対する英米政府の認識: 1935 - 36
年」

報告 「汪精衛政権No.2陳公博とナチ占領下フランスの
過激な対独協力主義者ジャック・ドリオとの
反共をめぐる比較思想的考察」

討論者

討論者

司会者

高光佳絵(千葉大学(助手))

柴田哲雄(愛知学院大学)

滝口太郎(東京女子大学)

劉傑(早稲田大学)

川島真(北海道大学)

D-2/E-2 (連続) アメリカIII (責任者: 滝田賢治)
《シンポジウム「ブッシュ外交の歴史的位相」》

討論者	佐々木卓也 (立教大学)
討論者	中山俊弘 (日本国際問題研究所)
討論者	大津留 (北川) 智恵子 (関西大学)
討論者	泉淳 (東京国際大学)
司会者	滝田賢治 (中央大学)

D-3/E-3 (連続) ロシア・東欧 (責任者: 永綱憲悟)
[I](D-3)

報告 「ロシア連邦制はいかなる連邦制か 比較連邦論の視点から」	長谷直哉 (慶應義塾大学大学院)
報告 「北東アジア地域のエネルギーをめぐる地域協力」	藤巻裕之 (東海大学 (非常勤))
討論者	兵頭慎治 (防衛研究所)
討論者	伊藤庄一 (環日本海経済研究所)
司会者	永綱憲悟 (亜細亜大学)

[II](E-3)

報告 「ウクライナの政治エリート 最高会議議員の変遷を中心にして」 (仮題)	藤森信吉 (北海道大学スラブ研究センター (非常勤))
討論者	皆川修吾 (愛知淑徳大学)
報告 「少数民族政策に反映される民族間関係と その諸問題 ドニエストル共和国・ガガウズ自治 共和国を比較事例として」	佐藤圭史 (九州大学大学院)
討論者	六鹿茂夫 (静岡県立大学)
司会者	永綱憲悟 (亜細亜大学)

D-4/E-4 (連続) 中東 (責任者: 酒井啓子 / 松永泰行)

報告 「エジプト革命体制の終焉 ムバーラク期の 経済政策の進展と国民民主党支配の変容」	鈴木恵美 (日本学術振興会特別研究員)
報告 「戦後イラクにおける地域紛争と調停パターン ファッルージャ、ナジャフの例から」	酒井啓子 (アジア経済研究所)
討論者	藤原帰一 (東京大学)
司会者	未定

D-5/E-5 (連続) トランスナショナルII (責任者: 関根政美)
《海域アジアと豪州・オセアニアのトランスナショナルな共存可能性》

- 報告 「"アジア時代"におけるオーストラリア華僑の役割
についての一考察 アジア太平洋時代における
多文化主義：『生産的多様性』と華僑ネットワーク
幻想への期待」 増田あゆみ（名古屋学院大学）
- 報告 「先住民族との和解と豪亜関係 『開かれた和解』の
可能性」 鎌田真弓（名古屋商科大学）
- 報告 「オセアニアから見たアジア
太平洋島嶼フォーラムの対アジア政策」 小柏葉子（広島大学）
- 討論者 金子芳樹（獨協大学）
司会者 関根政美（慶應義塾大学）

D-6 欧州国際政治史・欧州研究（責任者：植田隆子）

- 報告 「E．H．カーのヨーロッパ戦後構想の再検討
『新しいヨーロッパ』論をめぐって」 山中仁美（キール大学大学院）
- 報告 "Japanese Policy towards Europe during
the Interwar Years -- Japan and the Bessarabian
Treaty Ratification Question" Marcel Mitrasca
(青山学院大学博士課程修了)
- 討論者 木畑洋一（東京大学）
討論者 六鹿茂夫（静岡県立大学）
司会者 木畑洋一（東京大学）

D-7 安全保障III（責任者：土山實男）

《ヨーロッパの安全保障 NATOとEU》

- 報告 「NATOの政治化論争と『アルメル研究』の再検討」 斎藤嘉臣（神戸大学大学院）
報告 「新しいIEUと欧州安全保障・防衛政策(ESDP)の展開
NATOとの関連，フランスの視点から」 小窪千早
(日本国際問題研究所)
- 討論者 吉崎知典（防衛研究所）
討論者 広瀬佳一（防衛大学校）
司会者 吉崎知典（防衛研究所）

D-8 国連研究（責任者：庄司真理子）

《国連による安全保障の実証研究》

- 報告 「現代の戦争と安保理決議
イラク戦争までの事例分析」 宮崎孝（名古屋経済大学）
- 報告 「国連平和維持活動と戦後日本 1956～1993」 村上友章（神戸大学大学院）
討論者 高井晋（防衛研究所）
司会者 庄司真理子（敬愛大学）

E-6 日本外交史II（責任者：黒沢文貴）

《暗号をめぐる日本外交》

- 報告 「戦前期日本の暗号解読能力に関する基礎研究
アメリカ国務省の暗号電報を中心に」 森山優（静岡県立大学）

報告 「イギリスの対日外交政策とインテリジェンス
1941年におけるイギリスの対日政策と
暗号解読」

小谷賢（防衛研究所）

討論者
司会者

中西輝政（京都大学）
小池聖一（広島大学）

E-7 欧州国際政治史・欧州研究・国際統合共催（責任者：植田隆子 / 小久保康之）

報告 「英国と冷戦終結
国際変化・国際機構・対外政策」

鶴岡路人（ロンドン大学大学院）

報告 「米ソデタント期のフランス外交 1964年のドゴール
ル
による中国承認の政策決定過程を事例として」

藤作健一
（東京外国語大学大学院）

討論者
司会者

植田隆子（国際基督教大学）
小久保康之（静岡県立大学）

E-8 東アジアII（責任者：平岩俊司）

報告 「対米ソ関係をめぐる中国政治，1969～1979年
脅威認識から機会認識へ」

増田雅之（防衛研究所）

報告 「北朝鮮『首領制』の変容
住民意識の変化と強盛大国論の登場」

磯崎敦仁
（慶應義塾大学大学院）

討論者
討論者
司会者

伊藤剛（明治大学）
室岡鉄夫（防衛研究所）
平岩俊司（静岡県立大学）

E-8 理論と方法III（責任者：飯田敬輔）

報告 「構成主義の方法論的課題
反証可能性の追究から合理主義との統合まで」

勝間田弘
（防衛・戦略問題研究所
（シンガポール））

報告 「対外援助の決定要因としての規範
冷戦期アメリカの対ラテンアメリカ外交を例に」

山梨奈保子
（慶應義塾大学大学院）

討論者
司会者

宮岡勲（大阪外国語大学）
大矢根聡（同志社大学）

E-10 国際政治経済III（責任者：山田高敬）
《経済領域における国際制度の形成および変容》

報告 「ASEAN+3（日中韓）の制度化
多国間枠組みの制度化の検討に向けて」

鈴木早苗（アジア経済研究所）

報告 「国際開発政策の制度的変容：
ネオ・グラムシアンアプローチの視座から」

安高啓朗
（ウォーリック大学大学院）

討論者
司会者

古城佳子（東京大学）
山田高敬（東京都立大学）